

大森第一小学校



目指す学校像

☆学ぶ楽しさ、わかる喜びを日々児童が感じられる学校

☆地域に愛着と誇りをもち、地域に主体的に関わる児童が育つ学校

☆きめ細かい児童理解をもとに、児童が安心して笑顔で過ごせる学校

☆仕事に誇りをもち、互いに学び合い、指導力を高められる学校

地域に根ざした環境教育①

内川・呑川と緑道公園での学習や奉仕活動

目白大学石田教授の指導による環境教育の推進。水辺の植物や水質について調べる。

多くの緑道公園が存在し、遊び場をして親しまれている。緑道になった経緯について知る学習を展開する。

地域の一員として清掃奉仕活動も行い、身近な地域環境の維持に努める。2019年11月には、「ふるさとの浜辺公園清掃活動」に取り組む。



大森の「歴史」「環境」の 包括的教育

- ☆海や河川の人工的な変化
- ☆東京オリンピックの開催と環境の変化(オリパラ運動)
- ☆地域の産業の変容
- ☆地域の生活形態の変容

大森の町に面した東京湾。地域の歴史からその環境の変遷を調べる。当時と今の海洋環境を比較し、公園として整備された浜辺で身近な「海」に親しむ学習を行う。

大森海苔のふるさと館小小学芸員の指導による「2019年度夏季教員対象の海苔切り、海苔付け、館内案内研修」など実施した。」

5・6年石田教授模範授業から、「大森第一海ゴミ調査隊」の活動展開中。



地域に根ざした環境教育②

東京湾とふるさと浜辺公園での活動

地域に根ざした環境教育③

地域産業の伝承～大森海苔産業・麦藁細工～

東京オリンピックの開催に伴う海岸工事により産業が途絶えた大森の海苔養殖業。高齢化する海苔漁業経験者から、児童が当時の漁業について伝え聞いたり、体験したりする活動を行い、「産業と環境」のかかわりについて考える。

江戸から明治期にかけて栄えた「大森麦藁細工」についても、体験活動をする。なお、麦藁細工は大田区の「ものづくり教育・学習フォーラム」にて発表している。



地域の祭りの由来を調べ、先人たちの願いを知る。また、地域の伝統行事に学校をあげて参加し、地域の一員として継承者の願いに気付く。

6年前7町会長様方から寄贈された管楽器の演奏会を年間10回以上実施。開校146年の歴史を誇る本校の地域力を生かし、多くの卒業生や学校を見守ってくださる地域の方々との交流を図り、大森の町の未来を創造する学習を行い、地域から期待される大森第一小学校を目指す。



地域に根ざした環境教育④

貴船神社・厳正寺の祭事と地域環境の関連